NSK ～映像に新たな価値をつくる会社～

SmartPSS Liteマニュアル

アクセスソリューション編

22.09.Y.01

内容

1 概要 3

2 アクセスガイド 4

3 人事管理 5

3.1 部門管理 5

3.2 スタッフ管理 6

3.2.1 カードタイプ設定 6

3.2.2 人員リストの追加 6

3.2.3 カード一括発行 11

3.2.4 人員管理リストのバックアップ 12

3.2.5 ユーザの検索 12

3.2.6 従業員の管理 13

3.3 権限設定 13

3.3.1 権限グループの追加 13

3.3.2 権限の設定 14

4 タイムテンプレート設定 17

5 高度設定 20

5.1 最初のカードのアンロック 20

5.2 複数のカードでロック解除 21

5.3 アンチパスバック 24

5.4 インタードアロック 25

6 アクセスコントローラの設定 27

7 履歴イベントの表示 29

8 アクセスマネージャ 31

8.1 ドアをリモートで開く/閉じます 31

8.2 ノーマルクローズとノーマルオープンの設定 32

8.3 ドアステータスのリセット 32

8.4 アクセスポイントの設定 33

8.5 アクセスコントロールビデオの表示 33

8.5.1 1台のアクセスコントロールビデオの表示 34

8.5.2 複数のアクセスコントロールビデオの表示 34

8.6 リアルタイム・イベント・モニターの開始 35

8.7 リブート（再起動） 35

8.8 アクセスコントロールの詳細の表示 36

改訂履歴

日付	注意事項/コメント/変更内容
2023年3月8日	3.2.2.4 権限グループの設定を追加。

1 概要

SmartPSS Liteプラットフォームを介してアクセス・コントロール・デバイスとともに使用されます。デバイス64台までの中小規模管理(ドアのリモート制御やアラームの設定など)で役立ちます。

2 アクセスガイド

アクセス制御の共通機能をすばやく利用できます。

ステップ1　左側のバーでアクセスソリューションを選択します。

ステップ2　ホーム右下の「アクセスガイド」をクリックします。

ステップ3　上から下、左から右の順に機能を設定します。これらの機能の使用方法については、各章を参照してください。

図2-1　アクセスガイド

表2-1　アクセスガイドの機能

機能	説明
デバイスマネージャ	詳細はSmartPSS Lite操作フルマニュアルを参照してください。
従業員の管理者	詳細は「3 人事管理」を参照してください。
時間テンプレート	時間テンプレートの設定、アンチパスバックのパラメータの設定、アクセスコントローラの設定、および履歴イベントの表示を行うことができます。
許可グループ	詳細は「3.3 権限設定」を参照してください。
アクセスマネージャー	リモートでドアを制御できます。詳しくは「8 アクセスマネージャー」を参照して下さい。

3 人事管理

部門情報とスタッフ情報を管理できます。

3.1 部門管理

部門を追加、変更、または削除できます。ここでは、例として「デフォルトの会社」を使用します。

手順

ステップ1　ホームで従業員の管理を選択します。

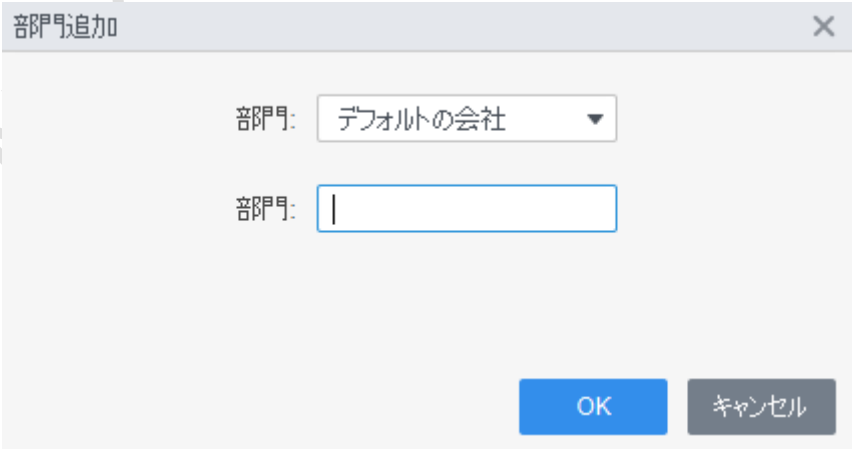
ステップ2　会社を選択し、をクリックして、地域、電子メール、Webサイトなどの会社情報を変更します。

ステップ3　部門リストをクリックして追加します。

ステップ4　上位部門を選択し、新しい下位部門を追加します。[OK]をクリックして確認します。

図3-1　部門の追加

図3-2　部門情報の追加



関連操作

- 削除する部門リストをクリックします。
- 部門を選択し、部門リストをクリックして変更します。

3.2 スタッフ管理

人事情報の追加、カードの発行、人事情報のローカルへのエクスポート、カード停止などの操作を行うことができます。

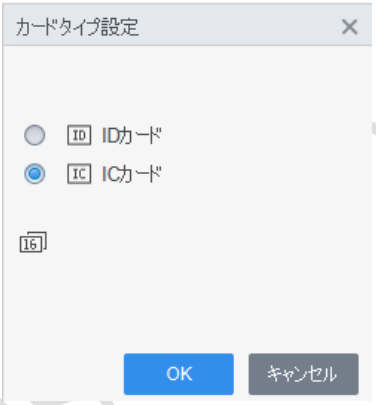
3.2.1 カードタイプ設定

従業員の管理 > ユーザ > カード発行タイプを選択します。
カードを発行する前にカードの種類を設定してください。

発行されたカードがIDカードの場合はタイプをIDカードとして選択します。

- デフォルトではICカードを使用します。
- カード番号種別を変更すると、アクセスマネージャ、ユーザカード、履歴イベントのカード番号も変更されます。

図3-3　カードタイプ設定



3.2.2 人員リストの追加

人員リストを追加する方法のいずれかを選択します。

- 1つずつ手動で追加します。
- バッチで追加します。
- 他のデバイスから人員リストを抽出します。
- ローカルから人員リストをインポートします。

3.2.2.1 人員リストを1つずつ手動で追加します

ステップ1　従業員の管理 > ユーザ > ✚追加を選択します。
ステップ2　スタッフの基本情報を入力します。

1) 基本情報を選択します。
2) スタッフの基本情報を追加します。
3) 静止画を撮影するか、画像をアップロードして「完了」をクリックします。

カード番号は、自動的に読み取ることも、手動で入力することもできます。カード番号を自動的に読み取るには、「カード番号」の横にあるカードリーダーを選択し、カードリーダーにカードを置きます。カード番号が自動的に読み込まれます。複数のUSBカメラを選択して、画像をスナップすることができます。

図3-4 基本情報の追加

ステップ3　証明情報を追加し、終了をクリックして保存します。

- パスワードの設定

パスワードを設定します。カードパスワードを設定します。新しいパスワードは6～8桁で構成する必要があります。

- カードの設定

カードを追加します。
追加後、強迫カードとして選択、新しいカードと変更、カードを削除できます。

カードのQRコードを表示できるのは、8桁のICカード番号のみです。

- 指紋の設定

デバイスまたは指紋スキャナーを指紋登録端末として選択します。
指紋を追加します。指紋の追加をクリックし、スキャナーに指を3回連続して押します。

- ~~フィーチャーコードの抽出~~

~~引出すをクリックして、デバイスから顔フィーチャー情報を抽出します。~~

※現在は使用できません。

図3-5　認証の設定

ステップ4　　許可グループを設定します。

従業員の管理＞許可設定＞+アイコン(ドアグループの追加)＞グループ名やデバイスを選択＞確認をクリック＞追加されたグループの従業員を追加をクリック＞追加した従業員を選択

許可グループは、さまざまなソリューションでサポートされるすべてのデバイスの組み合わせです。許可グループを選択すると、担当者情報が対応するデバイスに送信され、アクセスコントロールと出席確認の関連機能に使用されます。詳細は「3.3権限設定」を参照してください。

図3-6　許可設定

ステップ5　　完了をクリックします。

3.2.2.2 一括して人員リストを追加します

ステップ1　従業員の管理　>　ユーザ　>　バッチ追加をクリックします。

ステップ2　カードリーダーとスタッフの部署を選択します。カードの開始番号、カード数、有効時間、有効期限を設定します。

ステップ3　発行をクリックすると、カード番号が自動的に読み込まれます。

ステップ4　OKをクリックします。

図3-7　リストをバッチで追加

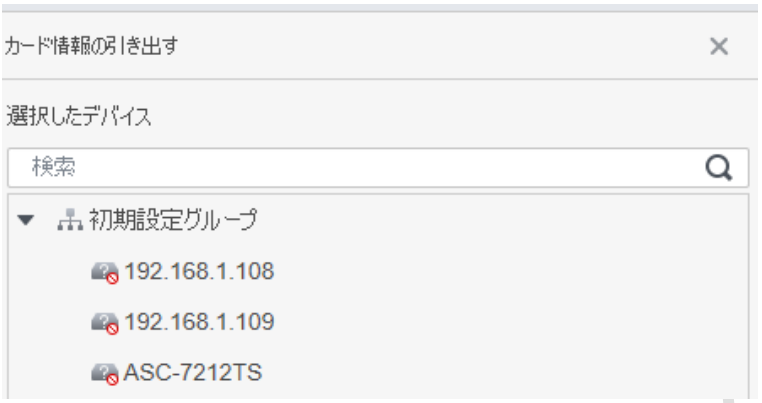
ステップ5 人員リストで、をクリックして情報を追加します。

3.2.2.3 他のデバイスからのスタッフ情報の抽出

ステップ1　従業員の管理 > ユーザ > 引き出すをクリックします。

ステップ2　抽出するデバイスを選択し、OKをクリックします。

図3-8　スタッフ情報を持つデバイス



ステップ3　必要な人員リスト情報を選択し、「引出す」をクリックします。

ステップ4　ユーザのリストで、をクリックして情報を変更します。

3.2.2.4 ローカルストレージからのスタッフ情報のインポート

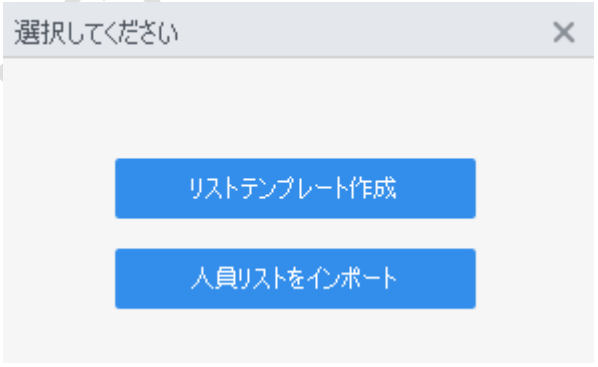
ステップ1　従業員の管理 > ユーザ > インポートをクリックします。

ステップ2　指示に従って人員リストをインポートします。

ステップ3　権限グループを追加します。（すでに作成している場合は従業員の追加をしてください。）

権限グループの追加方法は3.3.1権限グループの追加を参照。

図3-9　人員リストのインポート



3.2.3 カード一括発行

追加されたがカードがないスタッフにカードを発行できます。

ステップ1　従業員の管理 > ユーザを選択します。

ステップ2　必要な人員リストを選択し、「一括カード発行」をクリックします。

ステップ3　カードをバッチで発行します。カード番号は、カードリーダーで自動読み込みすることも、手動で入力することもできます。

- 自動読込
  1. カード読み取り装置を選択し、発行をクリックします。
  2. 注文リストに従って、対応するスタッフのカードを順番にカードリーダーに配置すると、SmartPSS Liteが自動的にカード番号を読み取ります。

3. カード検証の開始時刻や終了時刻などのスタッフ情報を変更します。

- 手動で入力
  1. カードリストで譜表を選択し、対応するカード番号を入力します。
  2. カード検証の開始時刻や終了時刻などのスタッフ情報を変更します。図3-10

カードのバッチ発行

ステップ4　　OKをクリックします。

3.2.4 人員管理リストのバックアップ

「バックアップ」をクリックしてすべての人員管理リストをローカルにエクスポートします。

3.2.5 ユーザの検索

ID、名前、またはカードに従ってリスト内を検索します。

図3-11　リストの検索

3.2.6 従業員の管理

カード表示と一覧表示の表示モードを選択できます。また、ユーザの部署と有効時間を一括で編集することもできます。

図3-12　カードの表示

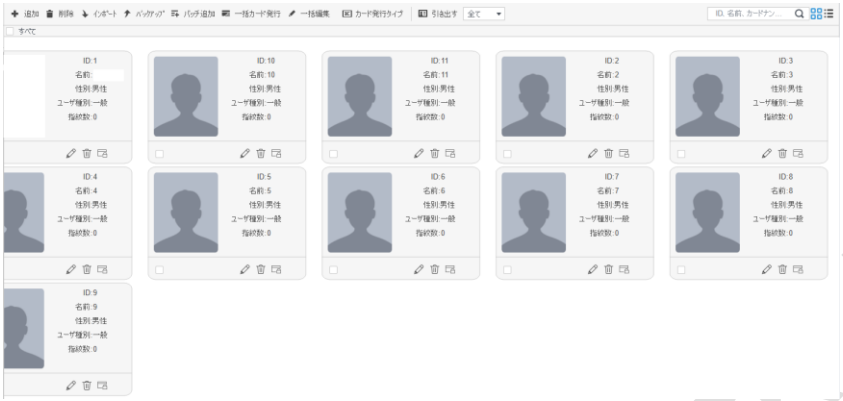
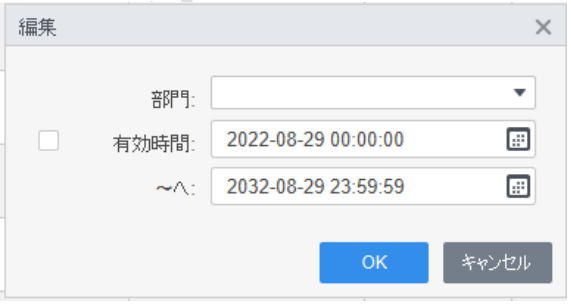


図3-13　リスト表示

図3-14　部門の編集



3.3 権限設定

3.3.1 権限グループの追加

手順

ステップ1　担当者マネージャ>権限設定をクリックします。
ステップ2　✚クリックして権限グループを追加します
ステップ3　権限パラメータを設定します。

📖　グループ名と備考を入力します。

必要な時間テンプレートを選択します。

時間テンプレートの設定については、「4 時間テンプレートの設定」を参照してください。
ドアIなど、対応するデバイスを選択します。

ステップ4　　OKをクリックして操作を保存します。

図3-15 **権限グループの追加**(1)

図3-16　権限グループの追加(2)

関連操作

- クリックしてグループを削除します。
- クリックして、グループ情報を変更します。
- 権限グループ名をダブルクリックして、グループ情報を表示します。

3.3.2 権限の設定

部門と担当者の権限を設定する方法は似ており、ここでは例として部門を使用します。

ステップI　　ユーザ　>　許可設定をクリックします。

ステップ2　　をクリックし、権限を設定する必要がある部門を選択します。

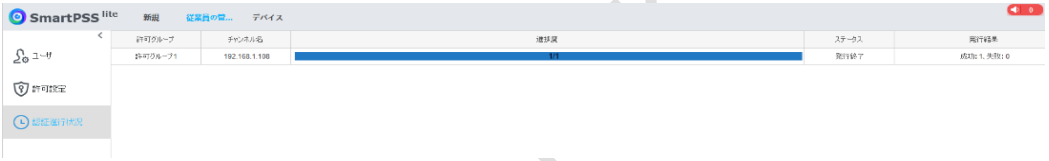
ステップ3　　OKをクリックします。

図3-17　権限設定

ステップ4　左側のナビゲーションバーをクリックして、権限の進捗状況を表示します。

認証に失敗した場合は、リスト内　クリックして考えられる理由を表示します。

図3-18 許可の進行状況



4 タイムテンプレート設定

時間テンプレートは、いつ開くか、いつ閉じるかなど、アクセスコントローラの稼働時間を設定する項目です。SmartPSS Liteには、デフォルトで4つの時間テンプレートが用意されています。必要に応じて、新しい時間テンプレートを設定できます。

デフォルトのテンプレートは変更できません。

ステップ1　ホームの「アクセス設定」をクリックします。

ステップ2　追加をクリックします。

ステップ3　時間テンプレートを設定します。

- 週計画と休日計画が競合している場合は、休日計画の方が優先されます。
- 時間テンプレートが設定されたら、ユーザに権限を割り当てます。

時間テンプレートを選択するときの権限設定。

1) テンプレート名とディスクリプション（説明メモ）を入力します。
2) 週計画をクリックして週計画を設定し、月曜日から日曜日まで、指定した期間に従業員が通過できるようにします。1日に最大4つの必要な期間を追加できます。

   2つの方法があります。

   - 方法1:期間設定領域にカーソルを移動します。カーソルがあるときは、不要なピリオドを  クリックすると、期間設定が灰色になります。この間、要員は通過できません。カーソルがあるときは、必要な期間設定を  クリックすると、ピリオドが緑色になります。この期間中、人員は通過を許可されます。保存をクリックします。

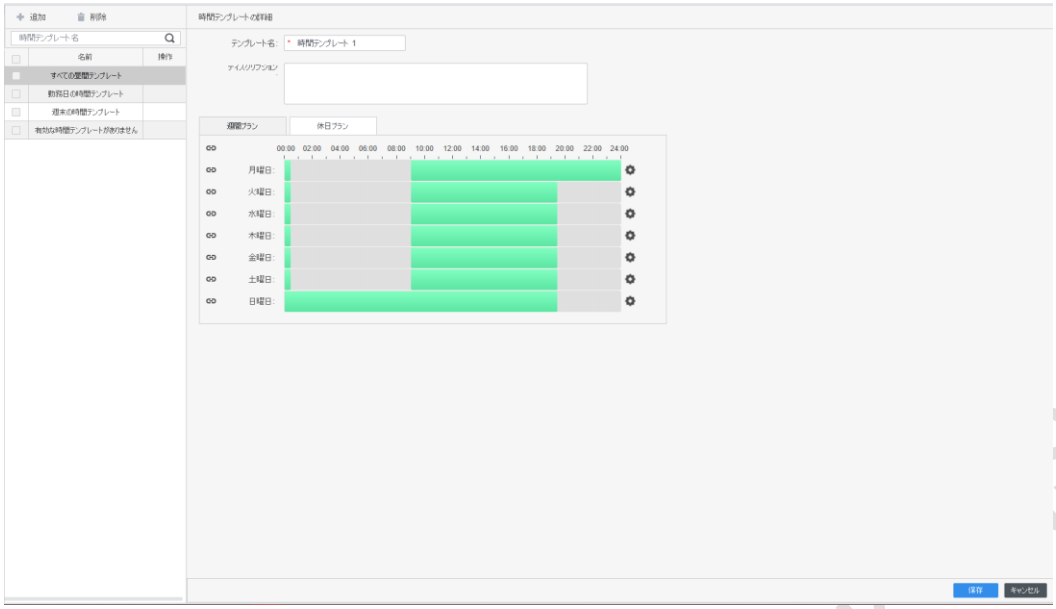
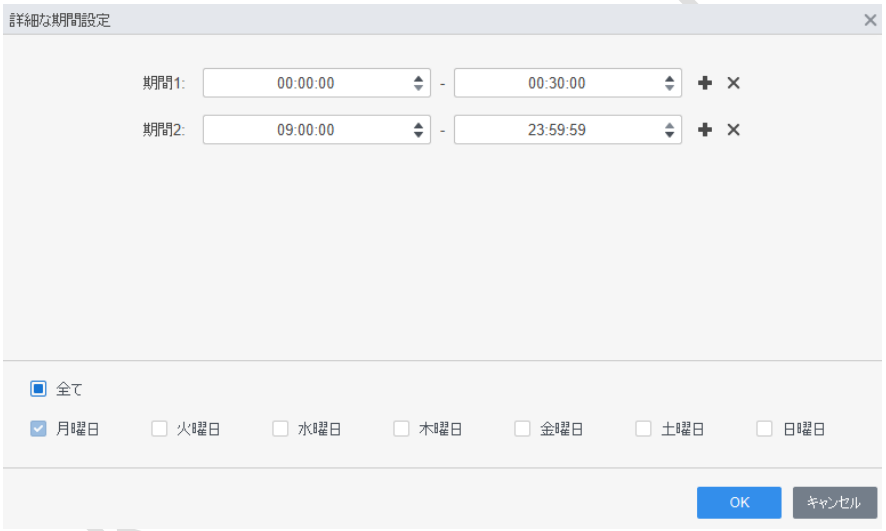


図4-1　設定した期間を他の日に設定する週プラン(方法1)を設定します。OKをクリックし、保存をクリックします。

図4-2　週計画の設定(方法2)



3) クリックして、週計画をコピーします。
4) 休日プランをクリックして休日プランを設定します。期間を設定します。「追加」をクリックし、ページの右側に休日情報を入力して、「OK」をクリックします。
5) 休日リストから必要な休日を選択し、「OK」をクリックします。

図4-3　休日プランの設定(1)

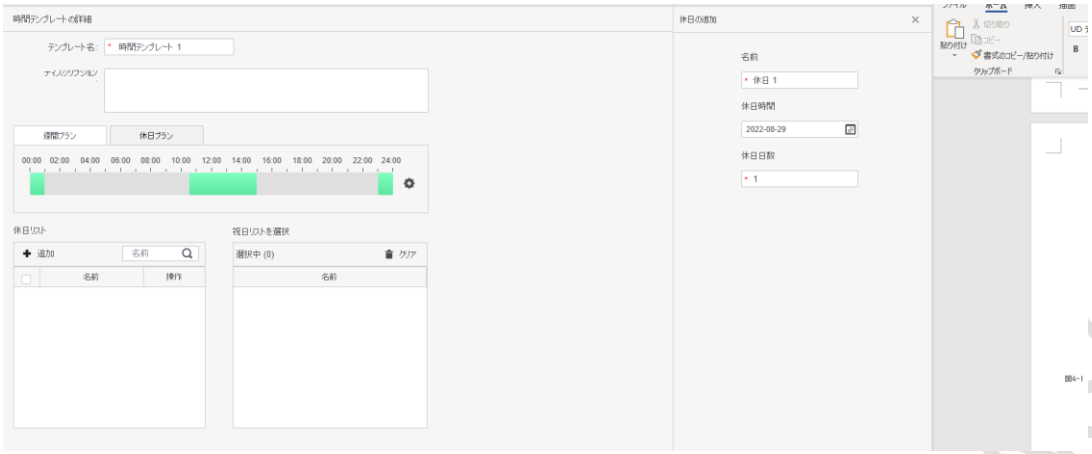
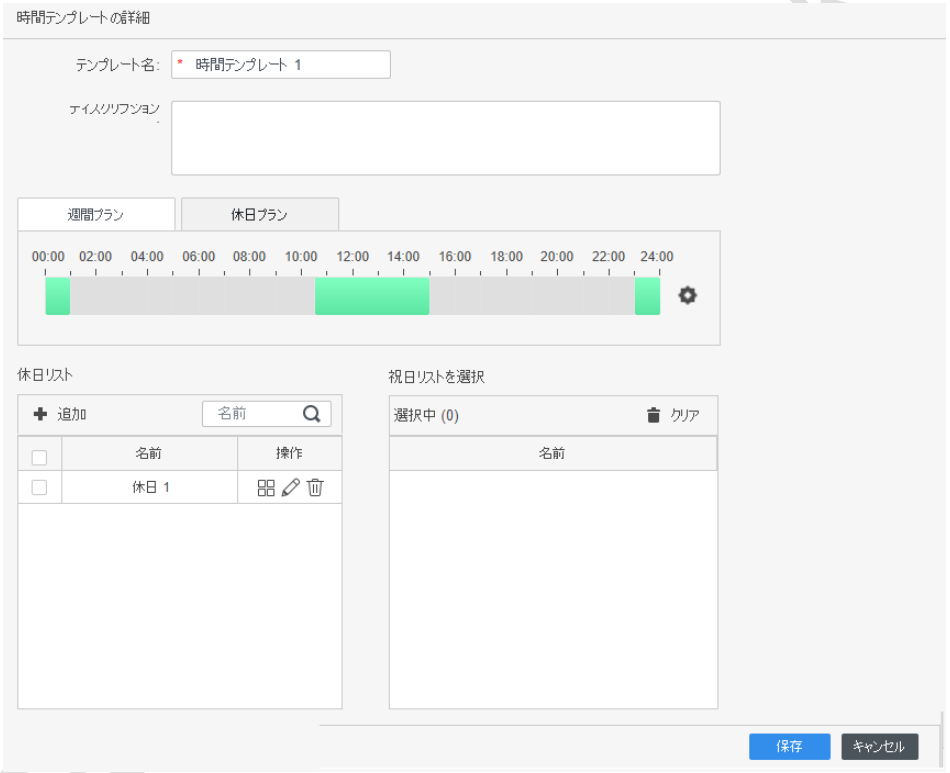


図4-4　休日プランの設定(2)



5.1 最初のカードのアンロック

最初のカードは複数設定できます。ユーザのいずれかが最初のカードをスワイプした後にのみ、最初のカードが自分のカードでドアのロックを解除することなく、他のユーザがそのカードをスワイプできます。

- 最初のカードロック解除許可を付与される人は、一般ユーザタイプであり、特定ドアの許可を持つ必要があります。追加時の種類を設定します。「3.2.2 人員リストの追加」を参照してください。
- 権限付与については、「3.3 権限設定」を参照してください。

ステップ1　アクセス設定 > 詳細設定を選択します。

ステップ2　最初のカードロック解除タブをクリックします。

ステップ3　追加をクリックします。

ステップ4　パラメータを設定し、「保存」をクリックします。

図5-1　最初のカードロック解除構成

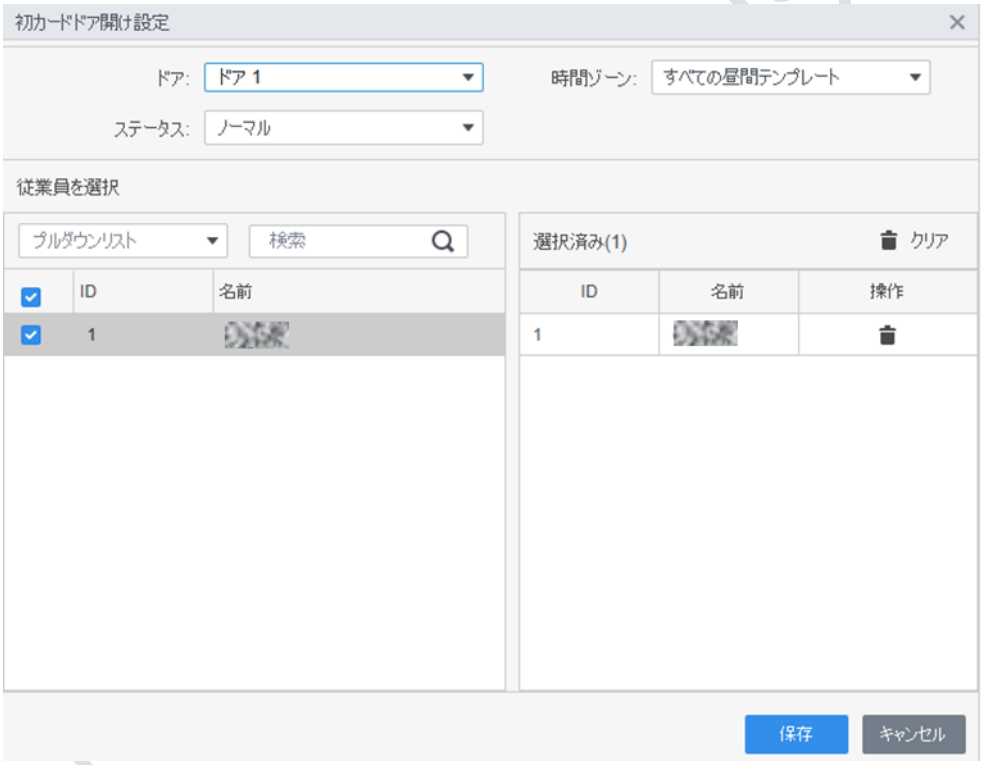


表5-1 最初のカードロック解除のパラメータ

パラメータ	説明
ドア	ターゲットアクセスコントロールチャネルを選択して、最初のカードロック解除を設定します。

パラメータ	説明
時間ゾーン	最初のカードのアンロックは、選択した時間テンプレートの期間内に有効になります。
ステータス	最初のカードアンロック解除が有効になると、ドアはノーマル、ノーマルオープンのずれかになります。
利用者	最初のカードを保持するユーザーを1人以上選択します。最初のカードをスワイプすると、最初のカードアンロック解除が実行されます。

ステップ5

をクリックすると、アイコンが に変わり、最初のカードロック解除が有効になっていることが示されます。

新しく追加された最初のカードのアンロックは、デフォルトで有効になっています。

5.2 複数のカードでロック解除

このモードではドアのロックを解除するために、1人または複数のユーザグループが、確立された順序でアクセスコントロールチャネルのカードをスワイプする必要があります。1つのグループには最大50人のユーザーを含めることができ、1人のユーザーは複数のグループに属することができます。

アクセスコントロールチャネルでマルチカードロック解除が有効になっている場合、最大4つのグループのユーザーが同時に現場にいて検証できます。ユーザーの総数は最大200人で、有効なユーザーは最大5人です。

- 最初のカードのアンロックの優先順位が複数のカードでロック解除よりも高いです。同時に有効にすると、優先的に最初のカードのアンロック解除を実行します。
- 最初のカードのアンロックユーザが複数のカードでロック解除のグループに追加は非推奨です。
- ユーザグループのユーザタイプをVIPおよびパトロールにすることはできません。人員リストを追加するときにユーザタイプを設定できます。「3.2.2人員リストの追加」を参照してください。

ステップ1　アクセス設定>詳細設定を選択します。

ステップ2　複数のカードでロック解除タブをクリックします。

ステップ3　ユーザグループを追加します。

1) ユーザグループをクリック

図5-2　ユーザグループマネージャ

2) 追加をクリックします。

図5-3　ユーザーグループの構成

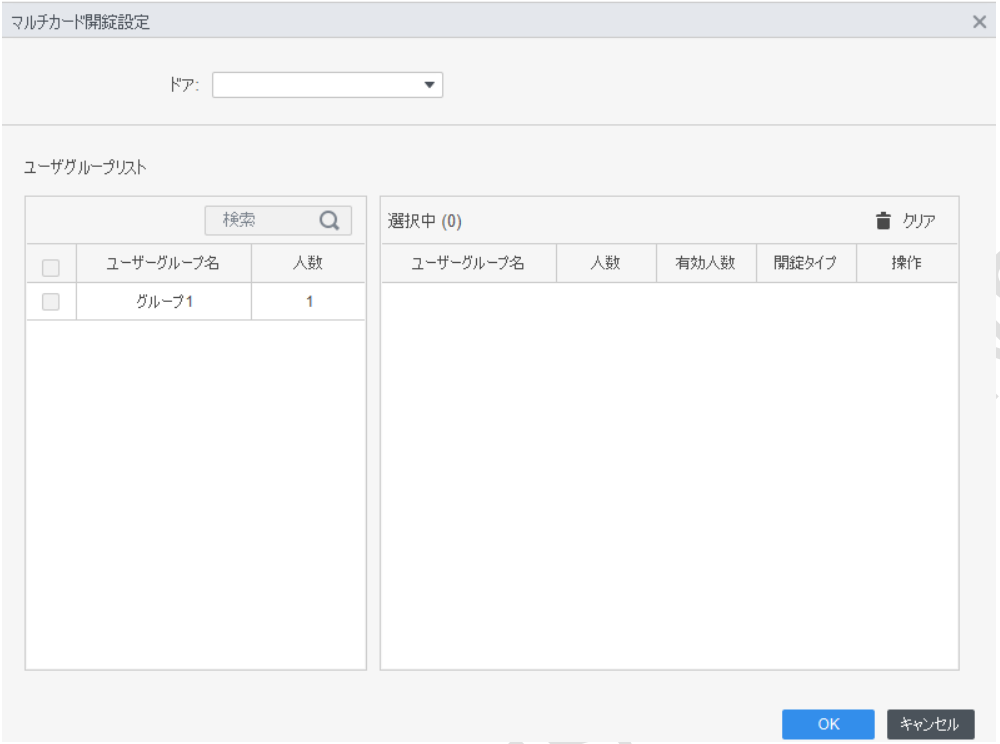
3) ユーザーグループ名を設定します。「ユーザリスト」からユーザを選択し、「OK」をクリックします。最大50人のユーザーを選択できます。

4) 「ユーザグループマネージャ」ページの右上隅にある×をクリックします。

ステップ4　マルチカードロック解除のパラメータを設定します。

1) 追加をクリックします。

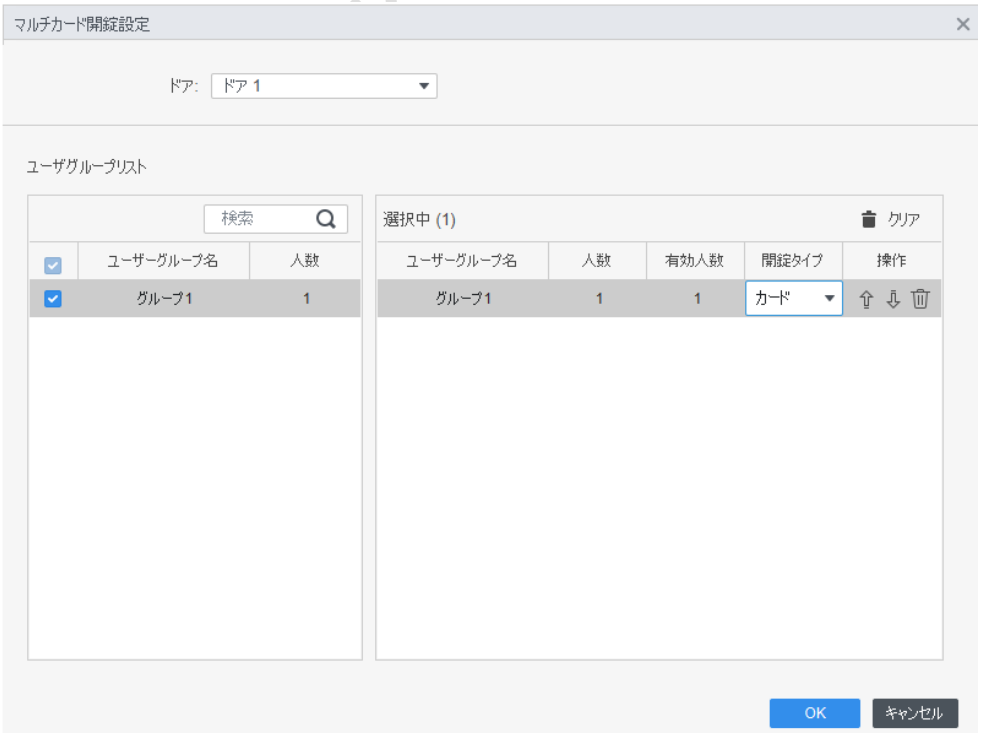
図5-4　マルチカードロック解除構成(1)



ドアを選択します。

ユーザグループを選択します。最大4つのグループを選択できます。

図5-5　マルチカードロック解除構成(2)



有効にする各グループの有効カウントとロック解除モードを入力します。

グループシーケンスを調整してドアのロックを解除します。
有効カウントは、各グループ内の、カードをスワイプするためにサイトに存在する必要があるユーザの数を示します。例として図5-5を使用します。ドアは、グループIとグループ2の2人の誰かがスワイプした場合にのみ、ロックを解除できます。

最大5人の有効なユーザーが許可されます。

OKをクリックします。

ステップ5 をクリックすると、アイコンが に変わり、マルチカードロック解除が有効になっていることが示されます。

新しく追加されたマルチカードロック解除は、デフォルトで有効になっています。

5.3 アンチパスバック

アンチパスバック機能を使用するには、定義された入口/出口で必ず入退室する必要があります。一致したレコードがなければ退出することができません。また、完全な入退室レコードがないと(たとえば、入室レコードのみ)入ることもできません。

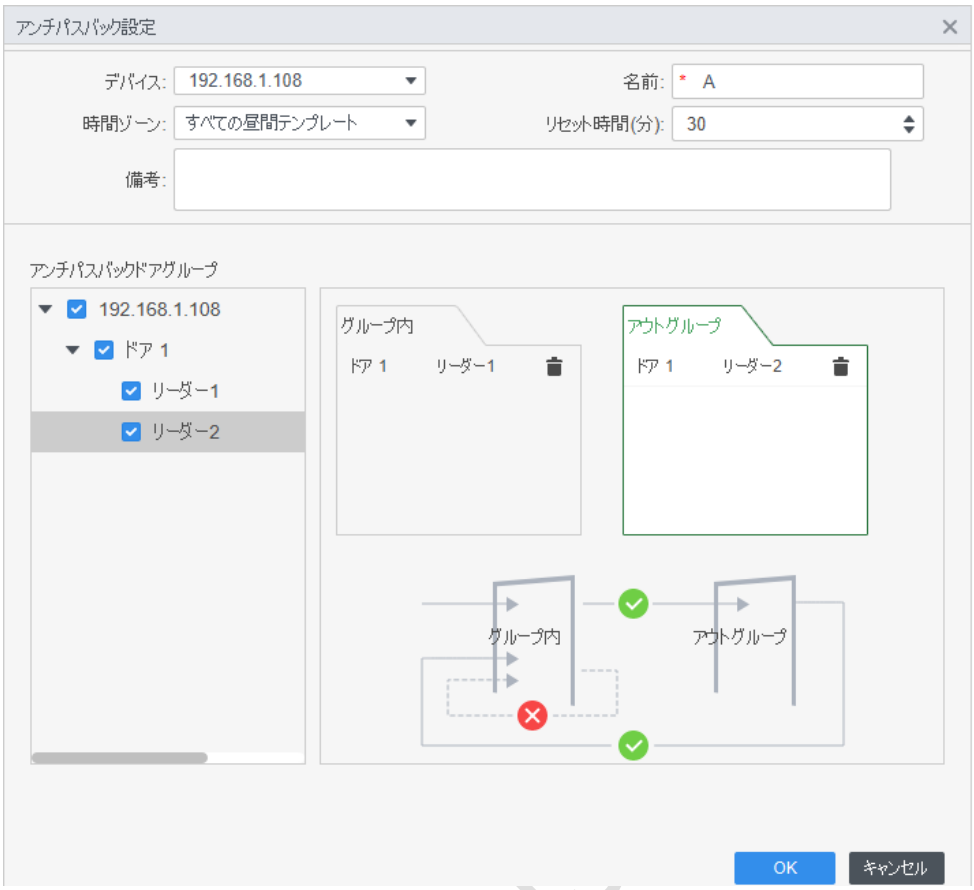
ステップI　アクセス設定>詳細設定を選択します。

ステップ2　追加をクリックします。

ステップ3　パラメータを設定します。

1) デバイスを選択し、デバイス名を入力します。
2) 時間ゾーンを選択します。
3) リセット時間を設定します。単位は分です。たとえば、リセット時間を30分に設定します。ユーザがが入室しても退室していない場合、このリストが30分以内に再び入室しようとすると、アンチパスバックアラームがトリガーされます。このリストの2回目の入室は、30分後にのみ有効になります。
4) 「グループ内」をクリックし、対応するリーダーを選択します。
5) 「アウトグループ」をクリックし、対応するリーダーを選択します。
6) OKをクリックすると、設定がデバイスに発行され有効になります。

図5-6　アンチパスバック構成



ステップ4　をクリックすると、アイコンが に変わり、アンチパスバックが有効になっていることが示されます。

新しく追加されたアンチパスバックは、デフォルトで有効になっています。

5.4 インタードアロック

インタードアロックでは、ドアグループ内で一度に1つのアクセスのみを開くことができます。1つのアクセスを開くときは、他のアクセスを閉じる必要があります。そうしないと、どのアクセスもロック解除できません。

1つのアクセスコントローラは、2つのグループのインターロック解除をサポートし、各ドアグループは最大4つのドアを追加できます。

ステップ1　アクセス設定 > 詳細設定を選択します。

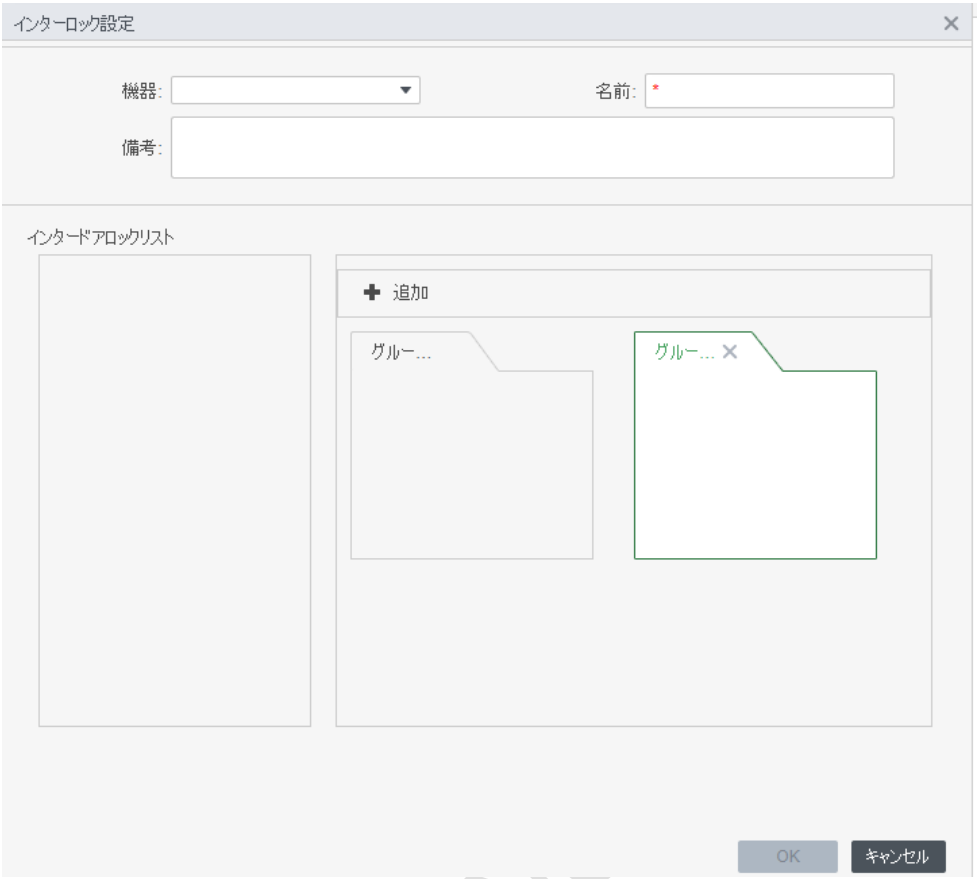
ステップ2　「インタードアロック」タブをクリックします。

ステップ3　追加をクリックします。

ステップ4　パラメータを設定し、OKをクリックします。

1) デバイスを選択し、デバイス名を入力します。
2) リマークを入力します。
3) 2つのドアグループを追加するには、「追加」を2回クリックします。
4) 必要なドアグループにアクセスコントローラのドアを追加します。1つのドアグループをクリックし、追加するドアをクリックします。
5) OKをクリックします。

図5-7　インターロック設定



ステップ5　をクリックすると、アイコンが に変わり、インターロックが有効になっていることが示されます。

新しく追加されたインターロックは、デフォルトで有効になっています。

6 アクセスコントローラの設定

リーダーの方向、ドアのステータス、ロック解除モードなど、アクセスドアを設定できます。

構成はデバイスによって異なる場合があります。

ステップ1　　アクセス構成　>　アクセス構成を選択します。
ステップ2　　ドアを構成する必要があることをクリックします。
ステップ3　　パラメータを設定します。

図6-1　アクセスドアの設定

表6-1　アクセスドアのパラメータ

パラメータ	説明
ドア	ドア名を入力します。
リーダー指示設定	⇌ クリックで実際の状況に応じてリーダーの方向を設定します。

パラメータ	説明
ステータス	「ノーマル」、「ノーマルオープン」、「ノーマルクローズ」など、ドアの状態を設定します。 SmartPSS Liteはデバイスにのみコマンドを送信できるため、実際のドアステータスではありません。実際のドアステータスを知りたい場合は、ドアセンサーを有効にします。
ノーマルオープン時間帯	ドアが常に開いているときの時間テンプレートを選択します。
ノーマルクローズ時間帯	ドアが常に閉じているときの時間テンプレートを選択します。
アラーム	アラーム機能を有効にし、侵入、オーバータイム、強要を含むアラームタイプを設定します。アラームが有効な場合、アラームがトリガーされると、SmartPSS Liteはアップロードされたメッセージを受信します。
ドアセンサー	ドアセンサーを有効にして、実際のドアの状態を知ることができます。機能を有効にすることをお勧めします。
管理者パスワード	管理者パスワードを有効にして設定します。パスワードを入力してアクセスできます。
リモート検証	機能を有効にし、時間テンプレートを設定します。その後、テンプレート期間中にSmartPSS Liteを介して、端末へのアクセスをリモートで操作することができます。
チャンネルバインド	アクセスコントロール連携の映像チャネルを設定します。設定後、アクセスコントロールビデオをライブ表示すると、リンクされたビデオチャンネルのリアルタイムビデオが表示されます。
インターバルをホールドする	ロック解除保持間隔を設定します。時間が経過すると、ドアは自動的に閉じます。
クローズタイムアウト	アラームのタイムアウト時間を設定します。たとえば60秒に設定すると、ドアが60秒以上閉じられていない場合、アラームメッセージがアップロードされます。
アンロックモード	● 「および」を選択し、ロック解除方法を選択します。ドアを開くには、設定されたすべての方法を同時に満たす必要があります。 ● 「または」を選択し、ロック解除方法を選択します。ドアは、設定した任意の方法で開くことができます。 ● 「期間でロック解除」を選択し、期間ごとにロック解除モードを選択します。ドアは、期間中にロック解除方法を満たした場合にのみ開くことができます。

ステップ4　保存をクリックすると、設定がデバイスに発行され有効になります。

7 履歴イベントの表示

過去のドア・イベントには、SmartPSS Liteクライアントおよびドア・デバイスで発生したものが含まれます。表示する前に、ドアデバイスの履歴イベントを抽出してすべてのイベントが検索されるようにします。

前提条件

検索する担当者がプラットフォームに追加されていることを確認します。

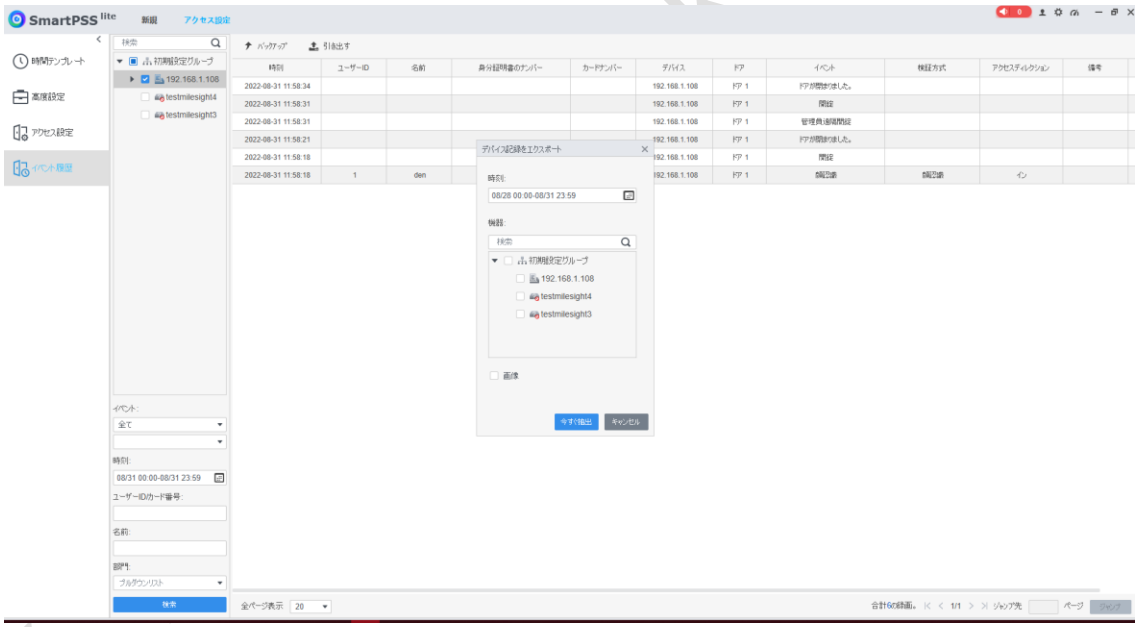
手順

ステップ1　ホームでアクセス設定 > イベント履歴をクリックします。

ステップ2　ドアデバイスからローカルにイベントを抽出します。「引出す」をクリックし、時間を設定してドアデバイスを選択し、「今すぐ抽出」をクリックします。

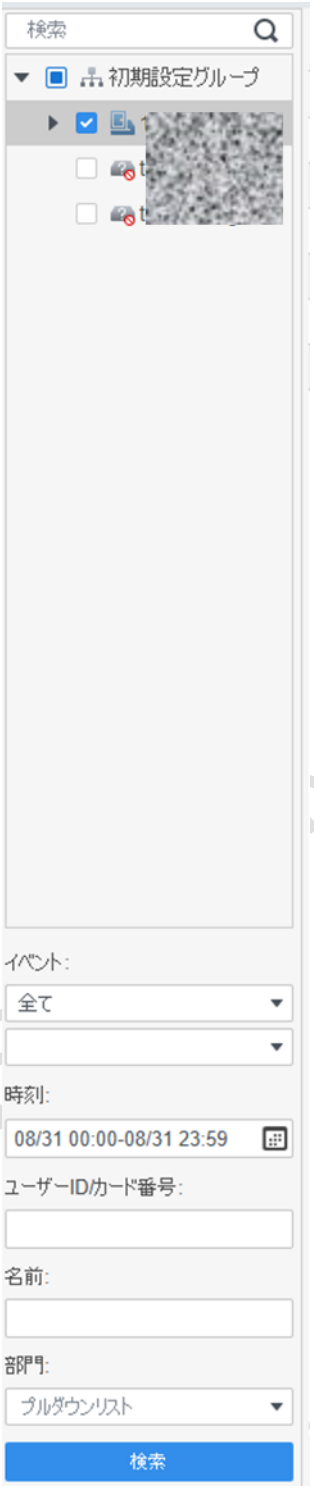
- 複数のデバイスを一度に選択して、イベントを抽出できます。
- コンピュータのタイムゾーンがDST(サマータイム)をサポートしている場合、プラットフォームに報告されるアクセスイベントは、デバイスのUTC(協定世界時)時間から1時間遅れます。

図7-1　イベントの抽出



ステップ3　フィルタ条件を設定し、「検索」をクリックします。

図7-2　フィルタリング条件によるイベントの検索



ステップ4　　「バックアップ」をクリックし、検索したドアイベントをローカルに保存します。

アクセスコントローラの設定が完了したら、SmartPSSLiteでアクセスコントローラのステータスをリモートで監視し、アクセスコントローラを操作できます。

8.1 ドアをリモートで開く/閉じます

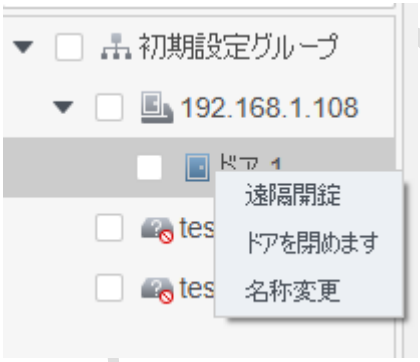
手順

ステップ1 ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2 ドアをリモート制御します。2つの方法があります。

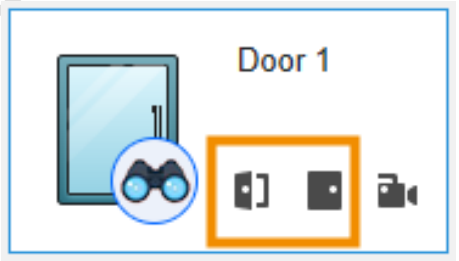
方法1:ドアを右クリック。「遠隔開錠」「ドアを閉めます」

図8-1　リモート制御(方法1)



方法2: または をクリックします。ドアを開閉します。

図8-2　リモート制御(方法2)



ステップ3「イベント情報」リストでドアの状態を表示します。詳細は、「7履歴イベントの表示」を参照してください。

関連操作

クリック　「イベント情報」リストを開きます。

- アクセスコントロール情報の表示:「イベント情報」リストでリアルタイムアクセス情報を表示できます。情報は、SmartPSSLiteの再起動後にクリアされます。
- イベントのフィルタリング:「イベント情報」でイベントタイプを選択すると、選択したタイプのイベントがイベントリストに表示されます。たとえば、「アラーム」を選択すると、イベントリストにアラームイベントのみが表示されます。
- イベントリストをロックまたはロック解除する:をクリックします。　　イベント情報の右側でイベントリストをロックまたはロック解除すると、リアルタイムイベントを表示できなくなります。
- イベントの削除:クリック　「イベント情報」の右側で、イベントリスト内のすべてのイベントを消去します。
- Event History(イベント履歴)をクリックしてHistory Event(履歴イベント)ページにジャンプし、Event Configuration(イベント設定)をクリックしてEvent Configuration(イベント設定)ページにジャンプします。

図8-3　イベント情報

8.2 ノーマルクローズとノーマルオープンの設定

ノーマルオープンまたはノーマルクローズに設定すると、ドアは常時開または閉になり、手動で制御することはできません。ドアをもう一度手動で制御する場合は、「通常」をクリックしてドアの状態をリセットします。

ステップ1　　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　必要なドアを選択し、「ノーマルオープン」または「ノーマルクローズ」をクリックします。

図8-4　常時開/常時閉設定

8.3 ドアステータスのリセット

ステップ1　　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　必要なドアを選択し、「ノーマル」をクリックしてから、画面の指示に従って操作します。

図8-5　ドアステータスのリセット

8.4 アクセスポイントの設定

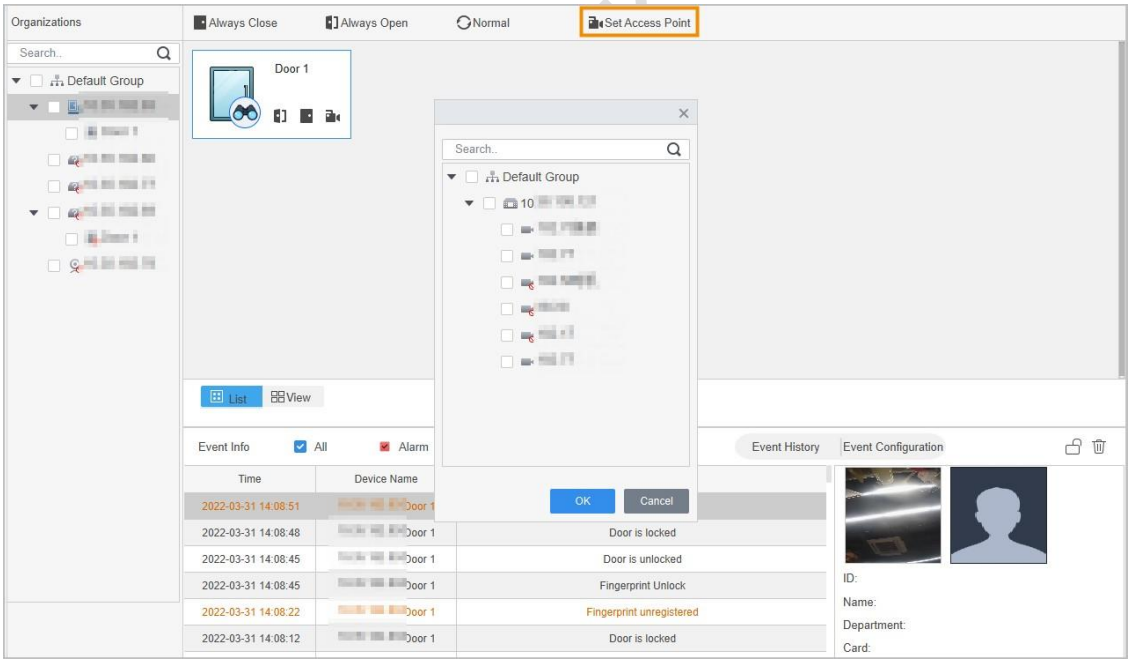
顔認識に対応した連動型スマートデバイス(IVSS)をアクセスコントロールポイントとして設定します。　設定後、顔認識のドア開放記録がプラットフォームにアップロードされます。

ステップ1　　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　アクセスポイントの設定をクリックします。

ステップ3　　接続先に設定する必要がある機器を選択します。

図8-6　アクセスポイントの設定



ステップ4　　OKをクリックします。

追加したアクセスポイントのイベント情報は、以下の「イベント情報」で確認できます。

8.5 アクセスコントロールビデオの表示

アクセスコントローラのカメラまたはリンクされた外部カメラによってキャプチャされたビデオを表示します。

- アクセスコントローラにカメラが搭載されており、同時に外部カメラとリンクしている場合

時間、表示したビデオはリンクされたカメラのビデオになります。

- アクセスコントローラにカメラが装備されていますが、外部カメラとリンクしていない場合、表示したビデオはアクセスコントロールカメラのビデオになります。
- アクセスコントロールビデオを表示できない場合は、アクセスコントローラにカメラがなく、外部カメラにリンクされていないことを意味します。アクセスコントローラに外部カメラを設定してください。「6アクセスコントローラの構成」を参照してください。

8.5.1 1台のアクセスコントロールビデオの表示

ステップ1　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　アクセスマネージャーページのリストをクリックし、デバイスの右下隅をクリックします。

図8-7　シングルアクセスコントロールビデオの表示

8.5.2 複数のアクセスコントロールビデオの表示

ステップ1　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

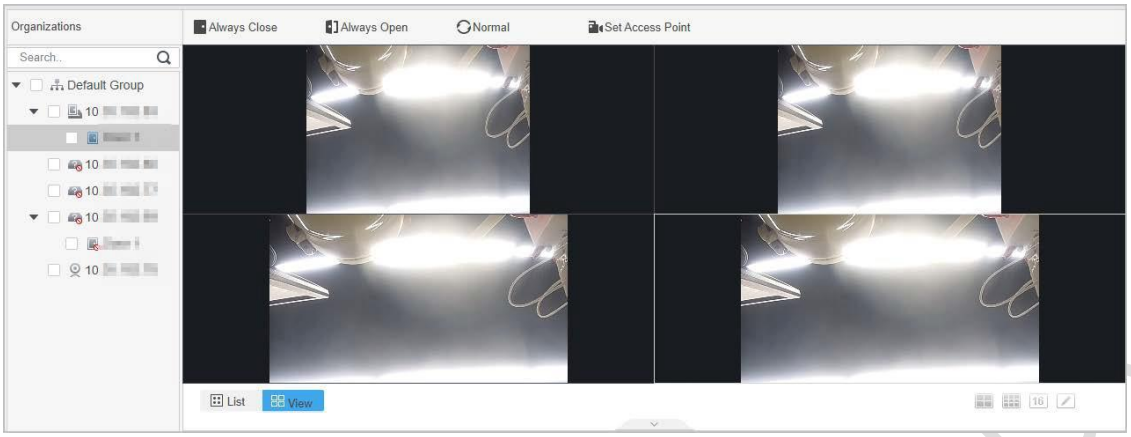
ステップ2　アクセスマネージャーで「ビュー」をクリックします。

ステップ3　アクセス制御ビデオを表示します。

1) ビュー をクリックします。 16 ウィンドウ数を設定します。

2) 組織ツリーのアクセス・コントローラを対応するウィンドウにドラッグするか、ウィンドウをクリックしてから、組織ツリーのアクセス・コントローラをダブルクリックします。

図8-8 複数のアクセスコントロールビデオの表示



8.6 リアルタイム・イベント・モニターの開始

ステップ1　　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　左側の組織ツリーで監視するアクセスコントローラをクリックし、デバイスを右クリックしてから、リアルタイム監視開始をクリックして、リアルタイムイベント監視を開始します。

図8-9モニタ開始

8.7 リブート（再起動）

SmartPSSLiteでアクセスコントローラのリモート再起動をサポートします。

ステップ1　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　左側の組織ツリーで再起動するアクセスコントローラをクリックし、デバイスを右クリックしてから、再起動をクリックしてデバイスを再起動します。

図8-10　デバイスの再起動

8.8 アクセスコントロールの詳細の表示

アクセスコントローラのIPアドレス、モデル、ステータス、シリアル番号、ファームウェアバージョン、およびその他の情報を表示します。

ステップ1　　ホームでアクセスマネージャーをクリックします。(アクセスガイド> をクリックすることもできます)。

ステップ2　左側の組織ツリーで表示するアクセスコントローラをクリックし、デバイスを右クリックして、「詳細情報」をクリックしてデバイスの詳細情報を表示します。

図8-11　ビューの詳細